



Innocent Keyがその名を刻んでいく歩み、その軌跡

およそ5年前、Innocent Key（以下 IK）はほぼ誰にも知られずひっそりと活動する音楽サークルでした。赤字は当然、制作費の調達もままならず、新作の公開に見向きもされない日々…。同人活動ですからもちろん制作を楽しむことが第一義、利益を得ることは二の次だったわけですが、制作の情熱とは裏腹に量産費用がメンバーの生活を圧迫する状況が続いていました。

しかし、それでもメンバーの瞳から光が失われることはありませんでした。「音楽が好きだ。自分たちの音楽を届けたい。そして認められたい。」創作活動をする者なら誰もが抱く想いを胸に、IKメンバーは苦境をものともせず制作を続けていきました。転機が訪れたのは2008年。みなさんご存知の『東方スイーツ』リリースは、IKの運命を劇的に変えました。この作品を皮切りにIKは同人音楽業界に深く名を刻んでいくことになります。主にネタサークルとして…！！（笑）

今回はIKがみなさまに知られていくまで、特に『東方スイーツ』『東方楼蘭』『東方聖水祭』にスポットを当ててベストを制作いたしました。次項より、それぞれの作品を振り返りながら、メンバーから明かされた制作秘話や当時の心境に触れていきます。また各作品について、豪華なゲストの方々からコメントを寄せてくださいました。そちらも合わせてお楽しみ頂ければ幸いです。



全てはここから始まった

暗黒時代から IK を一気に救い上げた『東方スイーツ』。東方初参入にして超ヒットとなったこの作品ですが、華々しい成功の影には様々な苦境がありました。

N N O C E N T K E Y T H E B E S T - I N N O C E N T K E Y

yohine

■ 置かれていた状況

当時のことを思い出すと苦しい現実の中で制作をひたすら続けていたことを思い出します。無職、存在意義の消失、あきらめと絶望。おおまかに言えばそのような状況の中で、常にネガティブな精神であふれていました。もちろん内心のどこかに、このままではいけないと思いながらも、しかし現実世界に目を向けられず、行動する力もなく鬱にまみれて、音楽へと現実逃避をし続ける自分自身がいました。

他には何もなく音楽だけがそこにあった日々。そういう意味では現実目に向けて生きていられなかった時代とも言えると思います。しかし、通常そのような状況になったとしても、ほとんどの方が生活のために苦しい現実と戦わざるをえない、音楽などに逃避することすら許されないだろうと思います。しかしそのような中、私はそのような環境を数年にわたって維持できたのは非常に幸運だったと思います。

音楽があったからこそ生きる望みがそこにあった、大げさかもしれませんが本当に当時は他に何もなくてそれだけが生きがいだったように記憶しています。何もしないでいると自分自身の置かれている状況に押しつぶされてしまいそうでした。音楽をやっている時だけはそのような現実を忘れられる。それ以外にほとんど何も無い生活でした。だからこそ Innocent Key があり、歴代の作品が生まれたと思っています。そして、予想よりもはるかに長く、はるかに多数の支持をいただき、お陰様でここまで続けることが出来ました。Innocent Key に生じた大きなきっかけ＝『東方スイーツ』があったからこそ今の Innocent Key がある、そして私たちは生かされてきた。そう思っています。

未熟な私達を応援していただいた方に心より感謝をしたいと思います。
皆様は私の命の恩人です。

N N O C E N T K E Y T H E B E S T - I N N O C E N T K E Y



Y T H E B E S T - I N N O C E N T K E Y T H E B E S T

■ 東方スイーツが Innocent Key の運命を変えた

東方スイーツ以前の Innocent Key はオリジナル作品を手がける無名サークルでした。しかしメンバー間の方向性の違いが顕著となり対立、2007 年の末に当時メンバーだったボーカルがほぼ全員脱退という波乱に見舞われます。突然見舞われた逆風のなか、悩まされる残された主催陣達。

そういえばやめていった女流ボーカル達に共通するキーワードが「スイーツ担当」だったなあという溢れる思い、そして当時惹かれていた東方アレンジを舞台として、私達の置かれていた状況をまさに作りだしたアンチスイーツをモットーに東方スイーツという皮肉めいた作品を作ろうと決意したのが当時でした。東方界限は二次創作への寛容さ、ユーザーの新しいネタに対する寛容さ、このあたりが非常に魅力的でした。この場所なら何かやっても許されるのではないかという雰囲気が当時はありました。

そうと決まれば、もちろん作るからには電波でかわいく！、皮肉が背景にあったとしてもそれを全面に出したりはせず、作品としてきちんと楽しめること、ちゃんと音楽としてしっかりしたものを作ろうということで、東方スイーツが生まれたわけでした。

そしてみんなに知ってもらうため、見てもらうためには PV も大事だということで、Innocent Key としては初の PV 付き楽曲となったわけです。この東方スイーツが Innocent Key にとっての初 Hit となりました。結果として CD は 1 万枚以上の出荷、動画は 2012 年末時点ではぼ 100 万再生達成という、東方界限のなかでは特別な大ヒットというわけではありませんが、当時の私達からしたらありえないほどの多大な評価をいただくことができました。

とにかく、この作品がなかったらその後の Innocent Key はなかったでしょう。この圧倒的な支持を元に皆様の期待に答えることを使命に作品作りに励む事となったわけです。

Y T H E B E S T - I N N O C E N T K E Y T H E B E S T



N N O C E N T K E Y T H E B E S T - I N N O C E N T K E Y

溝口ゆうま

■ 幻想郷の一員ゆうま（自称）

マジレスするとこの時はド鬱状態で病院のお世話になっておりました。しかし幸いな事に製作に逃避することによって自分を保っていたのでしょうか。東方の世界観に癒され自分も幻想郷の一員だぜ、フヒヒ…と良い感じにラリって作詞したのが『東方スイーツ』で御座います。それ以前も東方アレンジをさせて頂いておりましたが、自称幻想郷の一員と脳内で覚醒したのがこの作品だとはっきり言えます。

大瀬良あい

■ え…なにこれ？（°▽°）

って言うのが一番最初の印象でした。（とても良い意味で）

一瞬でハートを奪われたのです…。そのくらいの力がこの曲にはあったと思います、本当に。笑い有り、可愛さ有り、少々（？）えっちいゆりゆり有りてまさに私得でした。ゲヘヘ。いつだったでしょうか…東方スイーツ後辺りに打ち上げがあって、初めてココさんとお話したのですが、私のような駄目人間は、第一声に、「うほー！うほー！お嬢様お帰rinaさいませ！って言ってください〜！（*°▽°*）ｷｰ」「うほほー！携帯の着ボイスにしなきゃー！うほー！（*°▽°*）ｷｰ」と叫んでいたのを鮮明に覚えています。本当すみませんでした。（土下座）

私はファンとして普通に音楽を楽しんでいた身ですが、「沢山の方に聴いて貰えて、皆のおかげだ、こんなの初めてで嬉しい」と喜ぶ姿を見て、いっぱい苦労していっぱい頑張って生まれた CD なのだろうなと思いました。沢山の方の心に残って本当良かったですね。

当時、Innocent Key と CD で一切関わりのない私が何故打ち上げに参加していたかは…

次に続く！

N N O C E N T K E Y T H E B E S T - I N N O C E N T K E Y



Y T H E B E S T - I N N O C E N T K E Y T H E B E S T

ココ

■ はじめまして IK!!

『東方スイーツ』は私が IK に初めて呼んでいただいた、ものすごく思い出深い作品です。歌い手としても駆け出しで、CD 制作に参加できること自体がものすごく珍しいことだった頃のお話です。そんな中あまりに突然、制作お誘いメールが届いたので、びっくりしすぎてパソコンの前から動けなくなってしまったことを覚えていますw はじめは今では考えられないほどのものすごく丁寧な口調でお誘いいただいたので、どんな真面目曲が繰り広げられるんやろうときどき! と思ってデモを聞いたら大爆笑。なんたってご存知の通り、冒頭から「メイド! ニーソ! パッド長!」ですからね!w 電波曲が一番の得意分野だった私は「これならやれる!」と思ったものです。

一緒に制作をさせていただいて驚いたのは、その柔軟性でした。メールは戸惑うほどとっつきにくかったのですが、いざ制作に切り替わると IK メンバーのなんとユーモアなことか! スイーツ曲中の「おねーさまぁ!」や「うふふ」のセリフは私が勝手に付け足したのですが、ボツだろうと思っていたら予想外に採用されちゃったのですよ!w 曲はガチで通用するほど真面目に作っているのに、遊び心だだ漏れすぎる歌詞で台無しにしてしまう IK サウンドはこの頃からとても魅力的でした。このお歌で初めてフランちゃんとお会って、レミィお姉様、咲夜とお会って…飛び抜けたキュートさに耐え切れず、私はすぐに幻想郷の世界へとめり込んでいくことになります。今ではたくさんのキャラクターを演じさせていただけるようになりましたが、やっぱり私はフランちゃんに一番愛着があります。みんなカワイイんですけどね! スイーツとお会えて本当によかった。この作品がなければ、私は歌い手として全く違う方向へと進んでしまっていたかもしれません。…それが世間一般的にいいのか悪いのかは置いてw

ココという、この歌い手を育ててくださったのは東方と、IK と、そして私のお歌を聞いてくださる皆さまだと思っています。本当に本当にたくさんの方々に助けていただいて今の私があるのです。現在進行形で継続しているこの気持ちは、きつとずっと、ずっと消えることはありません。改めて本当に、たくさんたくさんの感謝を皆さまに。

Y T H E B E S T - I N N O C E N T K E Y T H E B E S T



N N O C E N T K E Y T H E B E S T - I N N O C E N T K E Y

皆さまからのコメント

■ コンプ

このアルバムタイトルを聞いた時、もう決まってたよね。勝ちでしょ？ ジャケから音楽からすべてのスイーツ美味しくいただきました。

■ 貞野紫

記念すべき私の同人初参加作品！

このCDがなかったらこうやってイノキー音楽と関われていないし、東方ヴォーカル歌ってないと思うし、出会ってなかった人たちがたくさん。いろんな意味で活動の原点ですね。何故私がイノキーに出会ったのかは割愛しますが、これを書くにあたってイノキーと私の出会いでもあるメールのやり取りが残っていたので見返してみたり。2008年の1月2月かな。懐かしかったー。yohine先生と2人でカラオケ行った（軽いオーディション的な？）のはレアな思い出w その時にはもう『東方スイーツ』の制作は決まっていたらしく、後日、私の声を聴いた yohine 先生がふってくれた曲が「GrilledBird」。今でも東方の曲って独特の雰囲気あるなぁと思っているんだけど、あの時はあんな上下の激しい曲歌ったことなかったからすごく衝撃&不安だったなぁ。もちろん今歌ってもあの曲は難しい！！最初、あの曲の歌詞は yohine 先生が書いてて、それもメールが残ってて読み返してニッコリした。ボーカルレコーディングも初めての経験で、テンション上がる反面緊張がすごかったな。そして出来上がったCDの中でのGBは異色を放っておりました。（笑）最後の最後にアレがくるとは自分も予測してなかったわ。けど私のことは全く知らなくてもGBは聴いたことある！って方々と後々出会ったりして嬉しかったな。

この時はこんな長いお付き合いになるとは予想だになかったけど、今となってはありがたい出会いですね。「アリスのお茶会」の「っていうかぁ～」の部分が好きです。あと「魔理沙のキノコ」。何故ならば私は無類のキノコ好きだから！！

N N O C E N T K E Y T H E B E S T - I N N O C E N T K E Y



Y T H E B E S T - I N N O C E N T K E Y T H E B E S T

■ 梨本悠里

イノキーを語る上で外せないアルバムですよね参加していないのが悔しいくらい！スイーツから始まり GrilledBird できれいに纏める、そしてまたスイーツへ（以下ループ）合の手がいまだに頭から離れません…これはもしや…恋？！

■ Nimo

イノキーさんを世に知らしめたと言っても過言ではないアルバムでしたね。私も参加したかったです！（この頃はまだいませんでした><）特にスイーツは大好きで、ニコニコで歌い手さん達とコラボでカバーしたり、武士語で一人コラボしたりランチした記憶があります。

■ ytr

ぐへへへ、よいではないかよいではないか（挨拶）

頭から最後まで一気に聴けちゃう！スイーツなのに胃もたれ知らず！言わばこれはフルコース。え？どれが前菜でどれがメインディッシュかだって？ふふ、バカめ。聴けば分かる全てがメインディッシュ。スイーツなのにフルコース、そして全てがメインディッシュという矛盾をも凌駕する1枚。それがこの東方スイーツ！

■ せっげん

個人的には(°▽°)o ㇏ メイド! (°▽°)o ㇏ ニーソ! (°▽°)o ㇏ PAD 長! のインパクトが強かった記憶のアルバムです。Innocent Keyさんの曲はガチとカオスの針が極端に触れているというイメージは、このアルバムで確立した感があります。私もニコニコ動画上で初めて見たときは開いた口がふさがりませんでした。

Y T H E B E S T - I N N O C E N T K E Y T H E B E S T



緻密な計算、その果てに…

前作の勢いに続け！と制作された『東方楼蘭』。大ヒット直後の発表となったこの作品は、多大なるプレッシャーに耐えながらメンバーが制作した作品と言えるでしょう。

N N O C E N T K E Y T H E B E S T - I N N O C E N T K E Y

yohine

■ 必要性から生まれた東方楼蘭の構想

東方スイーツのあと考えたのは、「東方スイーツのサークル」からの脱却でした。どうしても作品先行で知名度が広がるため、東方スイーツのところという呼ばれ方からきちんと Innocent Key というサークル名が浸透するようにしなかったのです。ですが、そのためには東方スイーツ以外での作品のヒットが必要です。

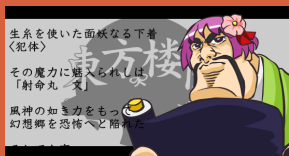
スイーツを超えるインパクト、注目される作品を出すことが求められました。東方スイーツが狙ったヒットではなく偶然当たっただけですから、注目を狙って起こすことはとても困難なことなのは間違いありませんでした。

そこで当時考えたのはやはり他に誰もやっていないような楽曲をすることです。私個人の自己評価として音楽の実力だけで他の楽曲より目立つことは実力的に不可能です。それならばあくまで総合力で勝負することが必要だと判断しました。音楽のみで勝負しても埋もれてしまうという思いが、音楽の音楽以外の部分への注目へと向かいます。

■ ストーリー系電波ソングの誕生

注目したのは当時勢いのあった SoundHorizon です。Roman という作品が音楽的にも仕上がりのにもすごく良く出来ていて、お話し立ての構成、それに合わせた楽曲の変化というのが目新しかったのです。この要素を掛けあわせてまじめなカッコつけたストーリーではなく東方を題材に、馬鹿馬鹿しく、でも愉快的楽しい方向性の電波ソングにしてしまおうという発想が生まれました。ストーリーをつけることの良さは、音楽を同人誌的にできるといことです。本来の音楽だけではなくキャラを積極的に生かして表現する事がよりストレートにできる、と思ったのです。お話を作って楽曲をすることで音楽だけで表現するよりも世界が広がる。キャラクターや世界観をよりリスペクトすることもできる、当時はそう考えました。そしてスイーツでも若干エロ系のエッセンスがあったので、既存の音楽サークルがほとんど開拓していないと思われる（一応ライトな）エロ路線で行こうということになりました。

N N O C E N T K E Y T H E B E S T - I N N O C E N T K E Y



Y T H E B E S T - I N N O C E N T K E Y T H E B E S T

■ 楼蘭とは

東方楼蘭は文花帖を元ネタとして撮影者である射命丸に東方キャラのパンツ撮影をさせよう、そして最後はノーパンを撮影してしまうという落ちです。楼蘭は発想の元ネタである Roman と語感が似ているのでまさにうってつけだったわけですが、それ以外には次のようなネタもありました。今だからこそネタバレしておきますが、楼蘭といえばその昔政界、財界、官界の有名人が利用していたといわれる伝説のノーパンしゃぶしゃぶの店の名前です。だからノーパンだったのですね。まじめに解説すると大変つまらないのですが、とにかく、そういうわけで作品名は東方楼蘭に決まったわけです。Roman はほとんどの方がわかったと思いますが、時代が古いためノーパンしゃぶしゃぶの楼蘭はほとんど気づいた方はいなかったような気がします。

■ それほどでもない結果だった楼蘭

楽曲的にはやれることはやりました。スイーツより題材的にやや真面目路線に舵を振りつつもゲストやネタ楽曲も取り入れ、楽曲のボリュームは大幅な増加を果たしましたが、結果としてはスイーツほどのヒットとは行きませんでした。大きく伸びなかった点にはいろいろな要因があると思いますが、やはりどう頑張っても楽曲自体のポテンシャルでそこまで引っ張れなかったことが第一としてあり、イラストやPV等のビジュアル面でのインパクトが弱かった点等があるのではと思っています。しかし当時としては考えられることは検討し、できることをやったつもりです。今思い出してみても、一応東方スイーツに続く作品として多少のインパクトを残すことはできたような気がします。決定的ではないものの次へつなぐことのできる結果だったと記憶しています。

皆様御存知だと思いますが、後に雅バージョンとして弱いと思われる点の補強を加えたバージョンもリリースしました。しかしベストではあえて旧版の楼蘭に焦点を当てて楽曲と素材を収録しています。

Y T H E B E S T - I N N O C E N T K E Y T H E B E S T



N N O C E N T K E Y T H E B E S T - I N N O C E N T K E Y

溝口ゆうま

■ 成長の兆しが見えてきたゆうま

各所に迷惑をかけつつちょっとはまともになってきたゆうま。メンバーでこんなのどうよとか話合ってるうちにパンツな方向へ加速…。全体としては「聴き応えのあるアルバム」を目指し、ガチやら電波やらこれぞイノキー！と今でも言えるアルバムだと感じております。

大瀬良あい

■ ここで激白します、私はパンツが大好き（真顔）

というのは冗談で、皆様は、ご存知ないかと思いますが、私、大瀬良は知人の紹介でメンバーになる以前 Innocent Key スペースの売り子何度かお手伝いしていました！（パーン）

…だからどうしたバカアホとか言わないでー！本当世の中狭すぎですよ。憧れていて尊敬しているサークルさんだったのでそりゃもう緊張しながら売り子してました。「あなたの名前は何ですか？」とスペースに来てくださった方に本名を言っていた私です wwwwww そんな私が、あろうことか！あろうことか！東方桜蘭の CD に参加させて頂く事になったのです…びゃー！頭が沸騰する程に嬉しい半面、身が凍るほどの不安でした。その曲が、「Take to Lips」です。溝口ゆうまさんのディレクションのもとレコーディングをして、そりゃもう、泣きながら何度も何度も…w 初めてづくしでどう聴いても、緊張しまくりの初々しい私です。あー！もっとこう出来れば！あー出来れば！なんて思う言葉は沢山ありますが、私はこの曲が大好きで宝物です。レコーディング後、溝口ゆうまさんに「頑張ったね」って言ってもらえたり、東方桜蘭の売り子している時、yohine さんに「この子も参加してるよ」って CD の案内で言ってもらえたり、恥ずかしいですが、思い出すと泣けますww 本当、感謝でいっぱいなのです。

そして、最後に、しゃばだばさんの仮歌が超カッコよくて、イケメンめー！ヽ(´Д´)ノと嫉妬しました。

N N O C E N T K E Y T H E B E S T - I N N O C E N T K E Y



N N O C E N T K E Y T H E B E S T - I N N O C E N T K E Y

皆さまからのコメント

■ しゃばだば

Sound CYCLONEのしゃばだばです。実はイノキーとは活動開始した年が一緒でして、東方スイーツで人気になりましたあたりから「この目の上のタンコブめチクショウ！くそが！」と思っていたところ、ひょんなキッカケでゲストに呼んでいただく機会がございまして。当時既に僕らのような下民とは違う、言うならば同人界のシロガネーゼとも言えるセブサークルの地位を獲得していたイノキーからのお誘いでしたから、下克上だぜ 下克上だぜ つぶせ！とばかりに戦に赴く武士のような心持ちを胸に秘め、果て無きイノキー山の山頂を目指し参加を決意したのです。その結果、やったことのない電波曲を作ろうとしてよくわからないラップの曲ができた、なんだかめっちゃめっちゃ早口のラップをやらされたり、ものすごいウェットなゲップをノリノリでやられたりされたわけです。今では同人界のピバリーヒルズサークルイノキー。僕は今日もイノキーのことを思い浮かべながら爪を噛むのです。

■ sou

この度はイノキーザベストのリリース、おめでとうございます。イノキーにはいろんな曲のベースを弾かせていただきました。「この曲なんで俺が弾くんだろ？」という曲もあり、サウサイでは絶対に出会わないような楽曲でベースを弾くのは、価値観の幅をこじ開けられる思いでした。

■ コンブ

まーなんていうかイノキーにしか出来ないアルバムですね。もういい良いとか悪いとか下品とか上品とか関係ない！そんなの意味ない！ Have fun!

N N O C E N T K E Y T H E B E S T - I N N O C E N T K E Y



N N O C E N T K E Y T H E B E S T - I N N O C E N T K E Y

■ Nimo

初めてイノキーさんに参加させていただいた個人的に思い入れの深いアルバムです！初参加でばんつ。運命的な出逢いだと思いました。そうそう、楼蘭の続編※で一番楽しかったのは最後の方でうっすら聞こえる喘ぎでした。夜中に一人でマイクに向かって喘ぎ続ける私の姿をお見せ出来なくて残念です。（※今回は収録しておりません）

■ ytr

Yes! パンティー！（挨拶）

ふんどしを締めてかかる。締めてからのヨッシャ！出だしからのこーりんの存在感が凄い。衝撃的ってレベルじゃねーぞ！曲が進めばあら不思議。あれ、いつの間にか雰囲気変わってる。また違う衝撃を味わいながらイノキーワールドに引きこまれている訳で。気付けば感嘆。それを見透かしたかのようにふんどし Again. 全く、やってくれる。様々な衝撃を体験する 1 枚。Yes. パンツ。それがこの東方楼蘭！

■ せっけん

ばんつは縞。異論は認めない。

N N O C E N T K E Y T H E B E S T - I N N O C E N T K E Y



YTHEBEST - INNOCENTKEYTHEBEST



YTHEBEST - INNOCENTKEYTHEBEST



二度目の大ヒット。そして…

関係者各位が聖水への溢れんばかりの情熱を注いだ『東方聖水祭』。桜蘭の制作を終え、いい意味で肩の力が抜けたこの作品は、IK の実力が存分に発揮された一枚となりました。

N N O C E N T K E Y T H E B E S T - I N N O C E N T K E Y

yohine

■ 東方聖水祭へ

桜蘭の反省点を踏まえ次へと言いたいところでしたが、この東方聖水祭は大変厳しいスケジュールでの制作となりました。桜蘭は夏から冬への4ヶ月ほど制作にかけることが出来ましたが、この時は3月に例大祭があったため、新作を1-2月とわずかが半分程度のスケジュールで作品を作ることが求められました。

個人的には東方桜蘭の制作で全力投球していただけてエネルギーも尽きかけていました。しかしやるしかありません。夏に延期をしようとその間に Innocent Key のことは世間に忘れられてしまう。そのような必死な思いのなかで、なんとが次の制作の構想を練って行きました。

前回はパンツなら次はもっと内なる世界へ、という響きは綺麗ですが要はより過激というか突っ込んだ表現を試みたくなったわけです。たまたまこの近辺で聖水好きが集まっていたこともあり、聖水で一曲作ってみるかとなりました。前回の反省を踏まえ明るく勢いのある楽曲に耳に残る連呼を加え、そして豪華ボーカル陣にこのような曲を歌ってもらう。まさに夢の様な制作でした。

そして極めつけはPV制作のノヤさんのご協力。当時永遠亭をテーマにしたすごいPVで有名な方で、このような方に今回のPVを作っていただいたらすごいことになる、と妄想していたらなんと実現してしまいました。

■ そして Innocent Key の名前が定着

東方聖水祭はおかげさまで東方スイーツの次のヒットと呼べる作品だったと思います。ようやくこれ以降は Innocent Key のイメージが出来上がり東方スイーツのところという呼ばれ方からサークル名が浸透したように思われます。

N N O C E N T K E Y T H E B E S T - I N N O C E N T K E Y



Y T H E B E S T - I N N O C E N T K E Y T H E B E S T

これによって当初の目標は達成できたわけですが、東方スイーツのように楽曲単体による牽引ではなく、今でも PV と歌詞で引っ張られて伸びただけの CD だと思っています。実際楽曲自体は平凡で特に秀でているわけではないので、これを普通の歌で出してもこのような結果には確実にならなかったと思います。

話題の PV 作者とその出来あがりの素晴らしさ、歌詞の内容とインパクト、そしてそれをちゃんとキャラに合わせ て選定した女性ボーカルで仕上げたこと、これが当時としては目新しかったのではないかと思います。

溝口ゆうま

■ 聖水です。聖水ですから。

多くは語りません。聖水です。聖水だから綺麗だよ？ イノキー多人数ボーカル電波というスタイルが定着したんじゃないかな、と思う作品でもあります。今思い返してみると色々な方々と絡み、怒涛のレコーディングなどなど、人との繋がりやを勉強させて頂いた作品でもあるなあとと思います。

大瀬良あい

■ 生まれて初めて、こんな恥ずかしいことしました ///

いや…恥ずかしい思いしました…か…w

大瀬良はまた、あろうことが!あろうことが! あろうことが! また CD に参加させて頂ける事になったのです、つい最近まで売り子だった私がです。そして「東方聖水祭」ですよ(・∀・)w
こちら、溝口ゆうまさんディレクションのもとレコーディング致しました。ええ、そうです。人の前であの台詞と歌と掛け声を録ったのです…。なんだ!この歌詞は!!!ざわ…ざわ… あんな、恥ずかしいの人生初ですよ!ママ!

Y T H E B E S T - I N N O C E N T K E Y T H E B E S T



N N O C E N T K E Y T H E B E S T - I N N O C E N T K E Y

今となっては、ありがたい事に（？）恥ずかしい台詞を言ったりするのは当たり前ようになっており、大分耐性が付いてきましたが、あの時はもう…ああ…。歌えば笑い、喋れば笑い、恥ずかしいのを笑いで吹き飛ばしながら収録しておりました www

私は、かなり自分に自信がないですし、自分の声に特徴が無いのを悩んでたりしますが、「好き」とが「格好良い」とか言ってくくださる方々に、凄く救われていました。皆様のおかげです。いつも素敵な言葉を下さってありがとうございます。

ココ

■ な、なななな、なんじゃこりゃああああああああ！！

この作品でなにがインパクト強すぎたかって、疑う余地もなくあの合の手です！！色んな歌い手さんを苦境に迫りやった伝説の合の手。そう、あれが！あれが！あれがもう！恥ずかしすぎて！！w ちょうどこの頃パソコンがクラッシュしてしまって使い物にならず、自宅でレコーディングできなかった私は、運悪くお友達のおうちにお邪魔して全てのレコーディングを終えたわけですが…。無事に、済むはずがありませんでした…！見つめられながらあの合の手を口にする、そのあまりの恥ずかしさに耐え切れず、敢えてはっきり発音せずにぼやーっと合の手したわけですが、後にそれが元で「入院！入院！」の空耳ネタになってしまいました。原曲より空耳のほうが健全っていうのは本当にIKらしいなおもいます！！w レコーディング時の余韻が残るままに公開されたPVは予想に反してものすごく可愛かったわけですが、あれはきっとノヤおにーちゃんの技量が半端ないからやと今でも思っています…！w そしてもう一曲、「鳥ならおまかせ焼き鳥屋」。この曲は今でも大好きな曲の一つです。まず、スイーツの頃から憧れていた紫ちゃんとの初デュエット！それだけでもテンションがあがるのにお祭り？(*´△`*) 屋台？！ ココの胸中はきゅんきゅんでした！w この曲を店内でかけてくださる勇者焼き鳥屋さんもいらっしゃるそうで、お気に入りだけにものすごく嬉しいです！ありがとうございます！！また紫ちゃんと共演したいなあ！

N N O C E N T K E Y T H E B E S T - I N N O C E N T K E Y



Y T H E B E S T - I N N O C E N T K E Y T H E B E S T

皆さまのコメント

■ D.watt

イオシスの D.watt です！イノキーと自分のサークル（某イオシス）はかつて非常に友好的な外交関係にあったのですが、イノキー歴 2487 年の東方楼蘭（有名なあの事件です）、そして翌年の東方聖水祭へは実際に参戦もさせて頂いたあたりから「この人ら大分酷いな」といった強い不信が目立つようになり、その頃まだ少年兵だった僕は完成品を聞かすや上官の襟首を掴む勢いでこれが正義なんですか！誰を守る為の！と若さをぶちまけたりしたのですが、今思えばあの体験（え！これ行っちゃうんだ的な）が自分の音楽経験を飛躍させる一歩になったような印象を持っています。まとめますと、東方アレンジで DJ らしきことを始めた頃に僕の CD バッグには聖水祭がよく入っていたなということです。それが僕のイノキーだったのです。

■ コンプ

……………。芯が通ってるってこういうこと言うのか、、、もしれない。。。

■ 真野紫

焼き鳥第二弾！「鳥ならおまかせ焼き鳥屋」です。初めてのデュエット曲です、テンション高めです！ココミスチーが可愛い過ぎて鼻血モンです。かじってもいいのよって言われたらかじりたくなるよね。とりあえず歌う前に「ざんぎ」とは何が調べました。（笑）あと途中の呪文みたいなヤツもww 「東方聖水祭」は表題曲のインパクトが強すぎなんだけど（PV すごいよ！）、個人的には好みの曲が満載名アルバムでした。某ゆうま氏の聖水祭の仮歌は破壊力満載ww 腹筋痛いよ！あと妬ましい曲とかメロイが頑張る曲とか！（ちなみに「GB」も「幾年」も仮歌は某ゆうま氏でした。いい声してるしすごくわかりやすい仮歌で助かる！いつもありがとうございます。）

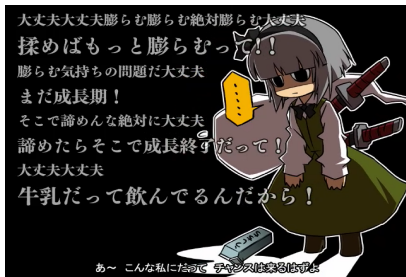
「鳥ならおまかせ焼き鳥屋」は全力で全国の焼き鳥屋を応援します♪

Y T H E B E S T - I N N O C E N T K E Y T H E B E S T

東方聖水祭

Presented by Innocent Key

N N O C E N T K E Y T H E B E S T - I N N O C E N T K E Y



N N O C E N T K E Y T H E B E S T - I N N O C E N T K E Y



Y T H E B E S T - I N N O C E N T K E Y T H E B E S T

■ 梨本悠里

おっぱいもちっぱいも最高ですね？ね?! 初めて聞いたときは聖水吹きまし…違った、紅茶吹きました。心配になりつつも安心のイノキークオリティ!!

■ Nimo

(°∀°)o ゴおっぱい! おっぱい! アルバム。誰しもが大好きなおっぱいソングかと思いきや、実はもっとコアなファン層のことも考えていたという奥の深い、正にイノキーさんらしい一品でした! 私のナレーションの出落ち感も心地よかったです。(個人的に) 一緒に収録されている「Alice Syndrome」は、ジョイスOUNDのカラオケで配信されている唯一の、ソロで歌わせていただいている曲なのですが、いつもケロケロが再現出来なくて挫折しています。

■ ytr

このタイトルを初めて見た時、「聖水ってまさかおs」(挨拶)

僕は貧乳好きですよ皆さん!! でっかくてもいいけどね!! そんな事を思い、聴いているアナタとは良いお酒が飲めそうですね。期待を胸に込めて聴いてみればノリノリ。そりゃもうノリノリ。注意してないといついつい音量を上げてしまいそうになる。なんだ!? 体が揺れてるぞ!! とこころ胸は揺れていますか!? ガッツリ揺れたいならこの1枚。それがこの東方聖水祭!

■ せっけん

(°∀°)o ゴおっぱい! おっぱい! でまてもイノキーさんらしいアルバムです。鳥ならおまかせ焼き鳥屋も大好きですが、やっぱり東方聖水祭のインパクトが際立ってるかなと。しかし皆可愛いすねえ…(*´ω`)

Y T H E B E S T - I N N O C E N T K E Y T H E B E S T



突撃！隣のノヤさん家！

『東方聖水祭』のヒットはこの人なしには語れない！キュートなキャラクターとユーモア溢れるセンスで人々の心に聖水を刻みつけたノヤマコト氏に、PV 進行担当ココがインタビュー！

N N O C E N T K E Y T H E B E S T - I N N O C E N T K E Y

ココ はい！ということでなんとんと、IK のベストを出させて頂くことになりました！！ノヤおにーちゃんにはステキジャケイラストを頂きましたよ！かわっかいいい！！パチパチ！そしてそして、なんといっても聖水祭のPV で果てしなくお世話になってほんまにありがとうございます(T△C) わあい

ノヤ いえいえこちらこそー

ココ さてさて、3 作の中でもひとときいろいろな意味で輝いていた聖水祭 PV ですが！せっかくなのでちょこちょこインタビューさせてもらってもいい？(>_<*

ノヤ もちろんおk ですよー

ココ わあい！(*´△`*) あいがとございます！

まずはやっぱり、一番初めに曲をもらった時の感想はどうでしたか？w

ノヤ 正直にいいの？w

ココ いいよ！！w どーんとこい！！w

ノヤ どうしようこれw って思ったw

ココ わかるwwwwww 私も初めて歌詞聞いた時のあの衝撃は忘れられへんもんw

ノヤ 何かあれじゃない、おしっことおっぱいだからねw このネタで作れるかどうかホント不安だったw

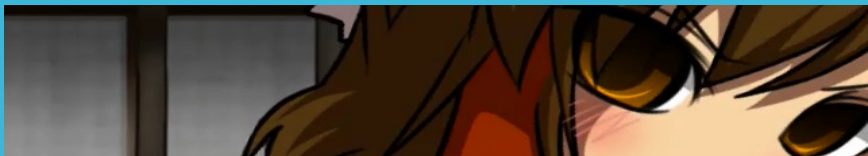
ココ そう！それ！w おにーちゃんほんまによくあの曲をあそこまでキュートでユーモア溢れるのにまとめあげられたよなあって尊敬する！w それまで作ってはったキュートでカッコイイ動画とは一線を画した内容やったもんね。

ノヤ ですねー。これもし出来た後あげてオレのイメージは大丈夫なのか！？とかちょっと不安になってしまったw

まあでも受けたからにはちゃんと作ろうと思って、ギャグ大目でネタ組んでなんとか仕上げた感じですねw

ココ そうそう！ 聖水祭 PV といえあの豊富なネタ！w 突っ込みどころが多すぎてすごい楽しいことになってましたが、あれはどうやって考えてはるのかな？w

N N O C E N T K E Y T H E B E S T - I N N O C E N T K E Y



Y T H E B E S T - I N N O C E N T K E Y T H E B E S T

ノヤ イノキーは歌詞がすでにネタ系なので、その突っ込みどころにオレが突っ込み入れる感じで考えてますね。

ココ なるほどなるほど！確かに突っ込みどころは多いかも…w

ノヤ 動画作ってるっていうより漫画作ってる周隔で作ってますねw

ココ ほー！おにーちゃん漫画もお上手やもんね！

ノヤ 聖水祭はストーリーっぽい感じの歌詞なので。

ココ ふんふん。やっぱりキャラの見た目とかも、曲のイメージとか内容から考えたりした？

ノヤ まあ胸の大きさが関係してる曲なんで、それに合わせて描こうとは思ってたけど、上手く表現できたかはちょっとわからないですねw AとEなら差はつけられるけどBとCとかちょっと絵では表現しきれないですw

ココ 微妙な違い！w あの時は確か、私が担当したみょんちゃんの声が高すぎてイラストで反映させてもらっちゃったんやったよねw

ノヤ あーあったきがするw 妖夢の声が高かったからロリっぽくしたみたいな感じがな？

ココ ちゃうねん、あの時はお歌のキーが鬼過ぎて仕方なかったん…(T△C)「咲夜 胸でかくなった？」のときw

ノヤ 結構曲が高い感じでもんねw

ココ そうそう！

ノヤ かなり頑張ってる感じで歌ってる感じですよw

ココ 完全なるホイッスルボイスになっちゃいましたよ！w

ノヤ 子どもが頑張ってるみたいな風で聞いてて可愛い。

ココ ふおおお(T△C)おにーちゃんやさしい！あの時は高すぎて歌えやん方もいらして、裏声で歌ってくれたりオクターブ下で歌ってくれたり、みんな苦労してくれはったみたいw

ノヤ やっぱ歌も自分のテリトリーのオクターブありますもんね。

ココ うんうん。そしてそれは動画もしかり！

東方聖水祭

Presented by Innocent Key

N N O C E N T K E Y T H E B E S T - I N N O C E N T K E Y

ココ 聖水祭までは結構キュートでありつつカッコイイ路線やったのに、それ以降はキュートおもしろい路線も多くなりましたよね！イオシスのやつとか！

ノヤ イオシスだと萃香のやつかな？

ココ そうそう！「Club Ibuki in Break All」かな？

ノヤ あれももうほとんど漫画な動画ですねw

ココ 確かに確かに！お話に沿ってて分かりやすい流れが重視されてた感じがします！あれはダンスシーンもあったりして、聖水祭のときよりめっちゃグレードアップしてた感じやった！

ノヤ 構成的にはギャグパートとダンスパートで聖水祭と同じタイプですね。

ココ なるほどなるほどー！今だから言うけど、あれが出てきたときはほんま複雑な気持ちになったんですよ！w

ノヤ クラブイキ？

ココ そうそう！純粋に可愛くて面白くて、魅力にあふれるいいPVを楽しむ気持ちもあったけど、うわぁああノヤおにーちゃんとこんな面白いことコラボしてる！羨ましい！ってw

ノヤ 嫉妬してしまったわけかw

ココ そうー！ だってだって、他のノヤ作品はやっぱりカッコイイやん！面白いのって、聖水祭が初めてやったような気がする！やからね、聖水祭がすごく素敵なPVになった時に、次はもっともっとおもしろいのを作りたいなって思ってた矢先にね！w

ノヤ 依頼PVは聖水祭が初めてですねー

ココ ふぉおお、そうなんや！めっちゃうれしい！！いつも言ってるけど、私個人的にノヤおにーちゃんのPVがすごい好きなんやよーw キュートなのに面白い、キレがあるのに崩壊しない、あの絶妙なバランス！！それでいてキャラクターはみんないきいきして魅力的で、とにかくかわいいの！

ノヤ ありがとー^^ いつもオレにお願い(PV制作依頼)してくれますしねw

N N O C E N T K E Y T H E B E S T - I N N O C E N T K E Y



Y T H E B E S T - I N N O C E N T K E Y T H E B E S T

ココ そう！そうなんですよ！！ボクはいつもおにーちゃんとコラボしたい！！w あわよくば「東方サークル×ノヤ」ならイノキーと言われるまでになりたい！！w

ノヤ イノキーお抱え動画師みたいな感じすねw

ココ お抱えていうか、いい作品はうちのだったら嬉しいなっていうか！ほら、代表作は？って聞かれた時にね、面白いカテゴリのやつはまっさきにイノキー作品が挙がったらうれしいなっていうw

ノヤ なるほど。まあオレもやるからには良い作品つくらなきゃなあって思いますしね。面白い歌詞をさらに面白く伝えるにはどうすればいいかなって、ネタ考えるの重視しますw イノキーのPVだと

ココ わあいうれしい！w 歌詞にないネタとか多かったですもんね！ババアンとかw

ノヤ 歌詞そのまんまじゃやっぱ動画としての意味ないですからね。歌詞をさらに映像で面白く見せたいみたいな気持ちで作りました。

ココ 職人魂！かっこいい！！私はそういう、各分野のスペシャリストさんたちがそれぞれにオリジナリティを足してって最終的に素晴らしいひとつの作品になるっていうのがすごい好き！

ノヤ そいや思い出したんだけど、ウサビーズあるじゃん。

ココ うんうん！

ノヤ あれのPV依頼オレにするときさ、…あれ？ウサビーズのときだったけかな？東方スクールだったかと思ったけど…

ココ ウサビーズかも…w あの時はすごく…頑張ってくれたよね…！！w

ノヤ ココさん「かっこいい曲だよー！」っていってて、オレはそれで「かっこいい曲か！どういうPVにしようかなー」ってちょっとわくわくしてたら、歌詞はネタだったwみたいなw

ココ ぶはっw そうそうそうそうww

ノヤ あ、まあ、いつものイノキーかってなったw

東方聖水祭

Presented by Innocent Key

N N O C E N T K E Y T H E B E S T - I N N O C E N T K E Y

ココ うわーんごめんーw あれね、歌詞はネタになっちゃうからって、せめて音楽だけでもおにーちゃんの好きな感じのカッコイイギターとか入れよう！って必死に働きかけたんやよーw

ノヤ なるほどwありがとうw その心遣いがありがたい！

ココ わあい褒めてもらっちゃった！ヽ(*´△*)ノ ウサビーズのときは、うどんげちゃんや妹紅ちゃんを縛るとき
の生き生きした会話がすごい印象に残ってるかもw

ノヤ あそこは普通にガチで考えてますしねw

ココ どういう縛り方がいいかなー！ってハシャギ半分ガチ半分で会話してた時、ふと「これ客観的に聞いたらものすごい会話やろなーw」って冷静に笑えてきたもんw

ノヤ まあ某絵サイト(P○xiv)に緊縛絵投稿してる身としてはねw やっぱ縛りとなると夢になっちゃってねw

ココ あははははw 楽しかったねえ！

ノヤ あそこの絵だけ時間掛けて書いてますしw

ココ 愛だ！愛を感じる！！w 実は縛る内容を入れたんも、おにーちゃんが好きやったからだったりするよw 楽しんでもらえそう！と思ってw

ノヤ あ、そうなんだw その心遣いがにくいね！

ココ そうなん！(*´△*) きゃーまた褒めてもらってもた！ やっぱりどのパートも、楽しんでやるのが一番いいもの
のできるの知ってるからw

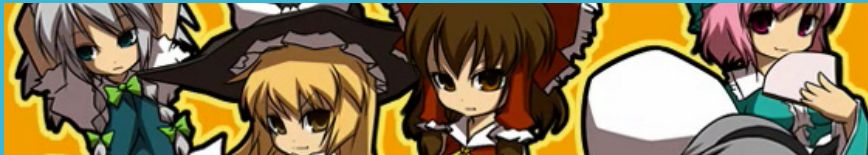
ノヤ まあ同人は楽しんで作るのが一番ですからね。

ココ ですね！

ノヤ オレもなるべくIKの要望は応えたいと思ってますけど、基本は自分のやりたいように作るみたいな感じですよw

ココ それが嬉しいよヽ(*´△*) その個性が合わさってすごく良くなるって知ってるもん。これからもそんな感じで
作品作りしていきたいなって思う所存ですボク！はい！

N N O C E N T K E Y T H E B E S T - I N N O C E N T K E Y



Y T H E B E S T - I N N O C E N T K E Y T H E B E S T

ノヤ ですね！

ココ 動画に漫画と、色んな活動をしてはるノヤおにーちゃんですが、今後の展望はどんなかんじでしょうか！

ノヤ まあこれからも同人描いていく感じですね w 動画とかもちっと長編な続きものの手描き動画とか作ってみたかったりします。

ココ ふおおおお！ なんとというΣ (*´△`)すごい楽しみ！！ なるほどなるほど！ 動画も漫画もモリモリ頑張る感じ？ (>_<*

ノヤ ですねー、まあ絵を描くのが趣味だから絵を描く作業の延長で、それが漫画になったり動画になったりしていけばなって w

ココ なるほどなるほどー！ おにーちゃんの漫画は主にコミケ東方系スペースで、動画はネットで見られるんかな？

ノヤ ですねー、まあ動画はニコニコ動画にうpすることになるかな

ココ ボクらのニコニコ！ w むはー (*´△`) 今後もおにーちゃんから目が離せないですね！ 更なるステキ作品が発表されるのを楽しみに楽しみにしております！

ココ さてさて、今回はこの辺でおひらき！ 楽しいお話いっぱい聞けてよかったー！

ありがとうございました！ (*´△`)ノ

ノヤ はい、ありがとうございました！



イノキーベスト出た！

IKにとって大事な区切りとなるこのベスト。作るからにはただのベストにしたいくない！メンバーのこだわりが詰まったベストをお届けします。

N N O C E N T K E Y T H E B E S T - I N N O C E N T K E Y

ベストへの思い

■ 出そう出そうと思っていたベスト

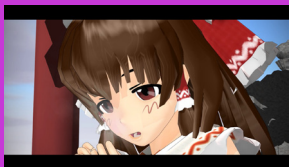
実は現代表 yohine は、かなり前からベストに意欲を示していました。ヒット作となった『東方スイーツ』『東方聖水祭』が売り切れてしまって久しい中、それらをお求めになるファンの方が目立っていたからです。しかし誰もが認める変わり者の代表は、「いつかやる。でもやるならうちでしか出来ないベストをやりたい。」と主張し、そのあまりにも大掛かりな構想ゆえにこれまで手を付けられずにいたのです。

今回ベストを制作できたのは、主要メンバーの転機とも言えるタイミングが重なったことがきっかけでした。yohine の音楽活動縮小、溝口ゆうまの個人サークル設立決定。誤解を恐れてお話ししますが、決して仲違いしたわけではありません。それぞれの人生ステージにおいて、音楽を含める多くのことを考えるステップが訪れたただけです。もちろん、両名とも IK 並びに個人の音楽活動は継続します。そんな、本人たちにとってもそうですが、IK にとっても大きな契機が訪れようとしている今だからこそ、このベストが生まれたと言っても過言ではありません。メンバー全員が力を出し合い、支えあって力を尽くした「大きな成果」を胸にいだいて、それぞれに歩み出すための糧にしたいという思いがありました。このベストは皆さまのお手元へと IK の音楽や真心を届けると同時に、IK メンバー達の歩みを確かにしてくれることでしょ。

■ やるからには徹底的に！

そうと決まったからには、やれることをすべてやるのが IK 流。旧三作については、収録曲 ALL リマスタは当然のこと、「東方スイーツ」カラオケの再 Mix 並びに永遠亭バージョンの作詞&ボーカルレコーディング、「ルナティックレッドアイズ」再 Mix、「Grilledbird」再 Mix、「セレブチョココレイト」への生演奏追加&作詞&ボーカルレコーディング&再 Mix、「幾年創世幻想曲」再 Mix、「Alice Syndrome」のボーカル再レコーディング&再 MIX、「祭りの中の嫉妬心」再 Mix という、旧作収録曲関係だけに絞っても膨大な作業時間を費やしました。

N N O C E N T K E Y T H E B E S T - I N N O C E N T K E Y



Y T H E B E S T - I N N O C E N T K E Y T H E B E S T

■ ベスト=手抜きだって思われたくない！

ご存知の方はほとんどいらっしゃると思いますが、IKのCD制作では必ずと言っていいほど守られるポリシーがあります。それは、「ディスク容量ギリギリまでコンテンツを詰め込むこと」。せっかく買ってもらうのだから、ちょっとでもお得だと感じて欲しい。ちょっとでもたくさんのお届けしたい。メンバーのそういう思いから、このポリシーは東方スイーツ当初より継続して守られてきています。IKは曲数もそこそこ多いのにカラオケ音源とか結構入れてるなーと不思議に思ってた方もいらっしゃるかもしれませんが、それはこのポリシーに則って制作されているからなのです！

そんなIKメンバーが制作するベストですから、既存曲の寄せ集めで満足できるはずがありません。これまでの曲の中で改善できるものに手を加えるのはもちろんのこと、DVDおなじみの高音質音源に加え、新曲は新たに一枚新作が作れるほどの量を収録、更に新作を含むPV動画、イラスト素材、NG集から過去の秘蔵トラック、そしてこの読み物まで、メンバーがやりたいことを全て詰め込みました。みなさまに少しでも多く楽しんでいただけたら、こんなに嬉しいことはありません。

またこの場をお借りして、沢山のお世話になった方々に御礼を申し上げます。一大企画ですので、やはり不測の事態やトラブル等がたくさんありました。それでもメンバー全員が力をあわせて沢山の方に助けていただきながら、やっとこのベストを完成させることが出来ました。こんな無茶な企画にお力を頂いた各方面のゲストアーティストの方々には、本当に感謝してもしきれないくらいです。ありがとうございました。

Y T H E B E S T - I N N O C E N T K E Y T H E B E S T



N N O C E N T K E Y T H E B E S T - I N N O C E N T K E Y

皆さまからのコメント

■ 真野紫

イノキー初ベストおめでとうございます！！ 新作PV が出来ちゃったり、ベストなのに新曲満載だったりすごいボリューム！！そんな記念すべき作品に携われてとっても嬉しいです。これからのイノキーも応援してます☆

■ Coro

魂音泉さんこと、Coro です。

「イオシス シルフォレ いえろーぜぶら オレがハマったのは奴らのせいさ

イノキー に まりお etc... 他の サークルも良いけど 俺等を聴けよ！」（「PARFECT MIC REEEEEEEEEEAY!!」より）

まさかイノキーさんに呼んで頂ける日がくるとは…ほんと、人生いつどこでなにあるか、わかりませんね！ 今回の楽曲は、「魂音泉×イノキー」という事で、脚本・超監督に我等が y t r ！ ボーカルはたま×ココ× kana ！！そして！！ アレンジは僕です。こんな面子で、かつてない新感覚を目指し、楽曲が誕生しました。可愛い歌声とコント、そして、妙〜に顔を踏みまくるラップ。あれ…なんだが…カッコいいような…気が……してきましたね…？こ…この…新感覚…

まさに「魂音泉×イノキー」！！！ ご堪能下さい。

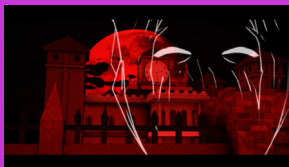
■ ytr

私は、ついてゆけるだろうか

社畜しかいない会社の労働に

紅美鈴 東方労働力〜 Yes, My Lord 〜

N N O C E N T K E Y T H E B E S T - I N N O C E N T K E Y



Y T H E B E S T - I N N O C E N T K E Y T H E B E S T

■ sassy

Innocent Key The BEST、おめでとうございます！君の美術館ギターの sassy でございます。

ぼくがまだ君美に参加して間もなく、電波系の音楽にハマっていたあの頃。そんななか辿り着いた innocent key さんの音楽は衝撃的でした！まず PV がポップでじつに見ていて楽しい！声も素敵だし！音楽としてもジャンルが豊富でクオリティも高い！こんな音楽、同人だからこそだな！こりゃすげー！と一気に引き込まれたのを覚えていますー。

その後しばらくして縁あってココさんと仲良くなれて CD で演奏までさせて頂く事になったりできてすごい嬉しかったなー！収録のときはごはんごちそうになったり、胃腸が弱い話で盛り上がりたりもしたね w また一緒にできる日を楽しみにしてます！

Y T H E B E S T - I N N O C E N T K E Y T H E B E S T



新しいステージへ

ベストを制作し、壮大なクエストをひとつやり終えた IK。軌跡を振り返ること
でそれぞれの音楽に対する思いを再確認し、再び果てなき創作の海へと旅立つ。

N N O C E N T K E Y T H E B E S T - I N N O C E N T K E Y

yohine

■ 一つの時代が終わった

これ以降、Innocent Key は目標を失ったことで当初の勢いも失っていきます。ネタも徐々に切れ、目新しいことをやる余地もなくなっています。正直なところこのようなことを作り手が言うのは失格だし許されないことだと思いますが、今だからこそあえて言いたいと思います。私にとっての Innocent Key は 2010 年の叙聖クオリアで終わっています。それ以降は制作に積極的ではなくなってしまいました。それでもいままで続けてこられたのは皆様の応援とメンバーの協力があつたからです。しかしそれもこの作品を持って一段落となります。ずっと隣で一緒に作品を続けてきた溝口ゆうまが独立するため、今までのような制作は困難となりました。

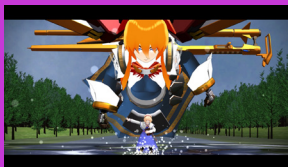
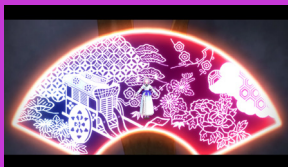
これからの Innocent Key は毎イベントごとの作品リリースは行いません。次回作がいつになるのかも現段階では白紙です。それでも Innocent Key は終わりにしません。またいつか出したい作品、出すべき作品を作らなければならない時が来るかもしれません。その時のために残します。あの生きるのも苦しくてつらかった頃、そこからみんなで乗り越えてきた歴史と作品。それらを消し去ることはできません。

溝口ゆうま

■ イノキーはこれからも！

制作とは正気と狂気の境界を操る程度の能力が必要なのでは！と書いていて思いました。内的、外的問わず自分を限界まで追い込む能力の先にある幻想郷。今でも辛いことやムカつく事も包んで貰っているなぁと感じております。ここまではまったのは「安心感」ってやつでしょうか！　そしてイノキーはゆうまの個人サークル設立や皆の多忙もあり一段落しますが、終わりではありませんのでこれからも宜しくお願い致します。

N N O C E N T K E Y T H E B E S T - I N N O C E N T K E Y



Y T H E B E S T - I N N O C E N T K E Y T H E B E S T

大瀬良あい

■メンバー加入後の私にとっての Innocent Key とかとか

加入前は、どうやって曲作ってるのかなーとか、どうやってCDになってるのかなーとか、何もかもさっぱりわからない残念な子でした。ノーパソ装備の機械音痴でしたので、マイクとインターフェースをGETした時はときめきましたw そんなド素人満載な私をメンバーに迎えてくださった皆様には本当感謝ばかりです。gakさん、yohineさん、溝口ゆうまさん有難うございます。今回はこのキャラの声担当だ！この曲担当だ！といつもワクワクドキドキです。

私の周りには先輩だらけで、毎回ついて行くのに必死です。とても大変で思い通りに出来ない辛さもあり、悩み、泣き、苦しい時もありますが、加入して現在は3年経って、よくココたんと歌や台詞のイメージを話したりしている際、最初より成長したって言ってもらえたり、嬉しいです…(>_<) 技術的な事も沢山教えて頂いたりと、い〜っぱい引き上げてもらいました。少しずつ色々な事出来るようになりました。一人では絶対に出来なかったと思います。

全てにおいてまだまだな私ですが、これからもべっこんべっこんで鍛えて貰ってまた来年も何か成長できるように頑張りたいと思います。自分をいっぱい叩いて叩いてそれでも潰れず起き上がれる、心と体を作れたらいいなって思います。引っ込み思案な私には難しいかもしれませんが…頑張らないと何も始まらないですものね。

いつか、お世話になった方に恩を返せるような人になりたいものです(*´ω´)うふ

Y T H E B E S T - I N N O C E N T K E Y T H E B E S T



INNOCENT KEY THE BEST - INNOCENT KEY

ココ

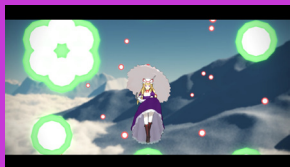
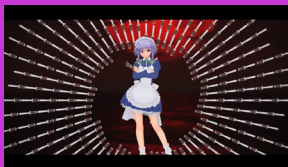
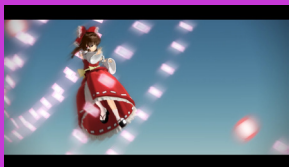
■ それぞれの胸に音楽と絆をいだいて

これまでの音楽活動を振り返ってみると、たくさんことができました。嬉しいことがあったり、失敗してしまいうことがあったり、ご迷惑をお掛けしたり…本当にたくさんの方がありがとうございました、どの経験も為になったと思っています。中でも一際光り輝いているのがIKでの経験です。IKはかなりアットホームなサークルですので、制作のみならずメンバーの人生をも含めて、助けあい支えあってきました。今ではメンバー全員、家族同然に大切に思っています。こんなに仲がいいIKですが、私たちはきっと音楽がなければ結びつくことのないまま過ごしていたと思うのです。人生のかけらを溶かしてまで曲作りを望むほどの情熱を持っていたメンバーたちが、共に音楽を創りあげてきたから、だからこそ私たちは今こうやって手を取り合っているのだとおもいます。人生の中でそれほどの友人に出会えるというのは本当に貴重なこと。それが大好きな音楽でつながったご縁だというのは何か運命的なものを感じずにはいられません。出会えたことに、こうやって共に歩めることに、本当に感謝しています。

今だから言えることですが、今回のベスト制作にあたって、代表のよいにゃんが「ひと区切りだし！ひと区切りだし！」とむやみやたらに連発していました。うさぎちゃんハートなメンバー一同は「もしかしてIK解散とか言われちゃう？！」などと、ものすごーいプレッシャーを感じていたわけですが、よくよくお話を聞いてみると全然そんなことはありませんでしたw ボクたち4人は変わらず音楽好きの仲良しで、制作仲間であいていいし、好きな事をしていいし、とお聞きしたときは数日分の息を全部だしちゃったかと思うくらい安堵しましたw

ちょっとこれまでとは変わるかもしれないけど、よく考えたら中の人は一緒ですもんね！ボクらはだいじょうぶ。一安心です！ 次は何をしようかなあ(*´△`)どきわく！

INNOCENT KEY THE BEST - INNOCENT KEY



Y T H E B E S T - I N N O C E N T K E Y T H E B E S T

■ 伝えきれないほどの親愛と感謝を

それにしても今回はほんまにほんまに大変でした。やりたいことが多すぎて風呂敷をついっかり広げすぎちゃったものですから、メンバーのみならずほんまにたくさんの、たくさんの皆さまにご迷惑をお掛けしちゃいましたほんまごめんさい(T△C) 助けってくれはってありがとうございます。ほんま大好きです！ おかげさまでこうやってたくさんの方のお手元にお届けすることが出来ました…！！ IKの悪ふざけにいつもこうやって力を貸してくれはるみなさんがいてくれはるからこそ、ボクらは何とか活動出来るんやなぁと本当に思います。もう何年来ものお付き合いをしていただいている方もいてはります。みんなみんな大好きです(*´△`) どうしようもないボクですが、これからも仲良くしたってください！

そしてそして、何よりお礼を言いたいのは、今このベストを手にとってくれてはるあなた！ そう、あなたです！ IKが今日ここまで歩いてこられたのは、こうやってIKサウンドを聞いてくれはるあなたが応援してくれはったからです。お馬鹿なことばかりやって、世間様にはなかなか胸を張って語ることの出来ないこのサークルを、ボクらの音楽を、好きになってくれはってありがとうございます。IKはきっとこれからもお馬鹿な何かをやらかしつつ、たまにガチな曲を作ってびっくりさせたりして、IKらしく活動していきます。どうかこれからも見捨てず(笑)、応援してってください！ ボクらの音楽が少しでも、あなたの日常を彩れますように！ヽ(*´△`)ノ

Y T H E B E S T - I N N O C E N T K E Y T H E B E S T